「やっぱり歩くこつ」

職場新聞〝二分会〟が伝える CO羊カン販売活動後の反省

本所指導部転場二分会新聞〝二分会〟二十三号は、同分会で統一的に行なった〝CO羊カン〟販売活動（全国的統一行動日だった七月二十六日に、三化の笹原社宅一帯にわたって活動）での経験を特集している。

特集には「羊カン売り活動でつかんだ分会員の断片的な意見を集約すると、貴重なものになっています。CO問題はもはや三池労組だけの問題ではなく、全産業の問題であり、社会的な問題である。公害との関連性をよく見て、今後もねばり強く行動を続けるべきだと思う」との、編集部の注がなされているが、同記事の中から、語られている声を紹介しよう。

×

——暑かけん、羊カンはうれんじゃったばい。

——ボールペンがよう売れたのオ。

——こげん暑かときゃ、どこん家でん、羊カンは余り食おでつなかそうなたん。

——水もんばかりじゃんのオ。

——ばってん、どこん家でんガス中毒のこつは知っとらしたなア

——大爆発のこつば忘れとらす人は、居らっさんじゃったばってん、まだCO患者ン居らすこつは、余り知らっさんごたった。

——俺が訪ねた家ではの、「あんたたちは三池労組なら、この間の宮浦の闘いとCO患者を守る闘いとの結びつきは、どがんかふうに考えとるとな」と聞かれたときゃ、即座に返答でけんじゃった。

——俺ンとこではの、「水俣病とCO患者を守る闘いと、大牟田の公害と結びつけて考えんぎっとでけんとじゃなかですか」どやられた。

——俺ンところじゃ、「あんたたち三池労組なら何か証明書ばもっとろけん、見せてくれ」といわれたばん。「証明書はもたんが、羊カンとボールペンに書いてあります」というたら、ナットクして買うてくれらした。

——俺が行ったところでは、素直に買うてくれらしたところと、仁義で買うてくれらしたところと大体半々じゃった。

——俺ンところではの、「主人が会社で死んだけん、私が仇いて子どもたちに食わせよるけん、趣旨はわかるがかんべんして下さい」といわれた。

——交流して見ると、いろんなこつのわかってくるなア。

以上交流の場にだされた声を紹介したが、本所指導部転場二分会のこの導い経験に学んで、CO患者を守る行動をいっそう積極的に広げてゆこう。

本所指導部転場二分会の転場新聞。
同分会の活動を反映して、いきいきとしている。
どの分会でも転場新聞を出そう！

俳句〝すわりこみ〟

富浦　高椋竜生

炎天の幕舎にすわり込む肚うち据え
すわりこむ幕舎に届きし夏花かな
炎天下ひとすじ一つのいのち欲し
解雇反対叫ぶ炎天の口とがらし
炎天の鉢巻しめてすわり込む
すわりこむ銀河は音もなく流れ
すわりこむ汗とも涙ともつかぬもの流れ

おれと安保

【2】

こつこつと火をひろげるなかで 私にもある心のつかれ

本所　平川勝俊さん（三十八才）
弘子さん（三十四才）

〝ボーナスは労金へ〟などは夢

平川さん夫妻には小学校五年生と三年生の二人の子供がある。平川さんは本所輸送課動務の運転手さん、二十三年勤続のベテランである。手取り月二万八千円。奥さんの弘子さんは県土木事務所のアルバイト。県転員同様の勤務時間だが、給料は月二万六千円。

生活費は「絶対にたらない」。学費が二人で月二千三百円位、あとはたべるだけ。衣類は盆、正月に家族会議で話し合って順番に買うぐらい。

弘子さんの転場の人たちは県転員ばかりなので、おかずの買物をするにしても六、七百円位かけて買うが、「うちは二百円位しか買わん。たべものの質と量がちがう」

今年の夏のボーナスも平川さんは五万二千円だった。赤字補てんに一万五千円、病院代、近所の初盆などで全部なくなった。

労金ではボーナス貯金をよびかけるが、実際はできるほどもらっていない。たくわえは二万くらいしかないが、「まあ、みんな病気せんでいきよるから……」と平川さん夫妻はいう。

恐しいが坑内も……

勝俊さんの転場である輸送課も三池炭鉱の第四次合理化によって一方的に廃止に追いこまれようとしている。

廃止へのうごきは目にみえる。内に下らなければいかんだろうと行部がきて、「あんたたちがいまのまま仕事をすれば、輸送課はすぐ廃止になる。三交替にすれば残るから」と説得して強行してしまった。それでも転場の第二組合員は「三池労組がいるから輸送課がいままで残った」というが、ともかすなら、月收五、六万円の收入勢が簡単に動くものではない。

生活の苦しさと、ともすればおこる運動の重苦しさから、平川さん夫妻も「なぜ三池にのこるか？」ということが、自分の気持の中で問いつめられる。

弘子さんは「他所の人から〝あんたたちは差別はされて給料はそんなに安くて、どこに魅力があって三池労組に残っとるとね〟とよくいわれる。だから、〝どこに行っても搾取されるのは同じじゃろもん〟というと、〝あんたたちは意地っぱりね〟といわれる。

たしかに昭和三十五年からもう十年、私たちは闘争のしずくめだったし、それかといって阻止闘争や座り込みでガップリ組んでも情勢が簡単に動くものではない。

だから、もし人のためにとか、何かをとるためにとかいう闘いが組まれるなら、重苦しいし、精神的にも、経済的にもつかれる。

会社をやめていった人が〝ほっとした〟というのも、その実感であるだろう。だからこそ、指導部はそこをよく見つめてほしい」

平川さん宅には、最近会社をやめて遠くの都会へ出た人から手紙がきた。その人は家もみつかり、ご主人の転も決まってよろこんで引っこしていったが、近所づき合いもなく、都会の生活は三池労組員同志の社宅の生活にくらべて、段ちがいにきみしかった。

「一日中だれとも話す人がなく、お父さんが会社から帰るのを待ちかねて、ダキついて涙をポロポロこぼしました」と書いてあった。

ウチも隣りも同じ家同志のような闘う仲間の連帯のあたたかみが、苦しくても重くても、三池で闘う平川さん夫妻の確信である。

核弾頭を装置できる ナイキ・ハーキュリーズ

ナイキ・ハーキュリーズは敵機撃墜のためのミサイル（誘導弾）射程百二十キロ、最大高度四万五千メートル、速分三マッハ（音速の三倍）の威力を持ち、命中率は三発に二発といわれます。ミサイルに通常弾頭と核弾頭のいずれも装置できるようになっています。現在進行中の第三次防衛力整備五カ年計画（三次防）で、北海道の千歳、長沼と阪神中京地区に二個高射群を新設する予定です。いずれも米空軍と航空自衛隊の基地防空を重点に配置されており、自衛隊核武装化の一環です。このほど札幌地裁は〝自衛隊合憲〟は疑問であるとして、ミサイル基地建設をストップさせました。長沼町では昨年からミサイル反対闘争を進めています。【KNA】

「三池CO患者守る会」に入会された方々

（七月二十六日現在）

伊志嶺　隆　〃　高橋町
水口ミナ子　八代市花園町
田尻　康子　〃　西松江城町
小久保春雄　熊本市水道町
竹脇　忠雄　神戸市長田区
森脇　祥子　大阪府門真市
瀬川　スイ　大牟田市加納町
藤岡　茂介　大牟田市手鎌
横山　勇　柳川市稲荷町
星野　正一　千葉市蘇町
井相田又市　〃　道場南町
御手洗敬司　〃　習志野市
降旗　良栄　東京都江東区
山崎　康男　〃
吉田　弘　〃　墨田区
坂本　二郎　〃　港区
江須　重雄　〃　江東区
湯川　忠夫　名古屋市港区
園田レイ子　大阪市天王寺区
大石知恵子　大牟田市新港町
藤井　静雄　荒尾市小野七七七
田中アヤ子　〃　緑丘桧町
毛利　雪松　〃
西川　崎戸　福岡県井尻東町
木下　岩男　大牟田市萩尾町
森田　勝子　〃　新港町
平山　誠　兵庫県加庫川市野口
宮崎小次郎　〃
栗田寿美子　横浜市港北区日吉本
武宮　広隆　大牟田市手鎌社宅
山本　博嗣　〃　大字岬
森村美弥子　東京都調布市緑ケ丘
松岡　妙子　大阪市阿倍野区旭町
藤田世津子　大阪府寝屋川市香里
梶山　博司　〃　門真市御堂町
南森　晃　〃　寝屋川市泰
吉永　久　京都市東山区回り町
泊　英敏　大阪府門真市常称寺
立野　陽一　大阪市旭区新森小路
大山　明枝　大阪府高槻市三丁目
谷川　倫江　〃　寝屋川市泰
中野　猛　〃
藤原　勇三　〃
堤　健一　〃　枚方市田ノ口
松村　和子　〃　寝屋川市
高山　真三　東京都中野区中野
遠藤　祐子　〃　葛飾区金町
小泉　俊士　横浜市中区桜木町
久保　明臣　東京都中野区沼袋
蒲生世志子　〃　北区赤羽台
清水　伸子　〃　中野区野方
宮崎　信蔵　大牟田市新港町六
小野　貞　東京都中野区東中野
熊谷八重子　荒尾市境崎
柿本　静夫　玉名郡岱明町三崎
宮本　信行　〃　山下
松浦　卓　神奈川県川崎市北見
松岡　士弘　熊本県人吉市新町
友村　修一　〃
広瀬　敏明　〃　上青井
植田　憲子　〃　願成寺
久保山啓介　〃　球磨郡錦町
岡本　保之　〃　本渡市今釜町
中川　博　〃　宇土郡不知火
田中　昭男　〃　下益城郡城南
久木田康弘　〃　八代郡坂本村
浦浜　真次　〃　八代市大手町
林　辰美　熊本市池田町四〇二
新田　利治　〃　健軍町
平野　健治　〃　大江町
宮本　良子　〃　清水町
林田　芳文　〃　坪井町
山下　清春　荒尾市万田西区
島上　進　北海道旭川市
片山三千代　大牟田市中町市住
草野　仁　山口県下関市彦島
草野モモエ　〃
小川　和俊　長崎市中小島町
豊村　信久　福岡市香住ケ丘
大田丘造　〃　香椎団地
工藤　正夫　北九州市八幡区市瀬
近藤　義信　荒尾市宮内
坂口　巽　〃　打越一五一
重行　博夫　大牟田市新勝立町
佐藤　信義　〃　小浜町
平岡　勉　兵庫県神崎郡福崎町
友永　正洋　横浜市鶴見区鶴見町
（他に匿名希望の方一八）